

化学物質環境汚染実態調査 平成 15 年度 環境省



平成15年度の「化学物質環境汚染実態調査」の結果が中央環境審議会・化学物質評価専門委員会で審議を経て、17年3月31日までに16年度版「化学物質環境実態調査 - 化学物質と環境 - 」としてまとめられました。

選定された調査物質を対象に、(1)対象化学物質の環境残留状況把握のための初期環境調査、(2)ヒトや生物への対象化学物質の暴露量を把握するための暴露量調査、(3)POPs条約や改正化審法対象物質のうち、環境基準が設定されていない物質のモニタリング調査が実施されました。

このうち初期環境調査ではHCF C類など15物質(群)ののべ20物質(群)・媒体を調査し、うち水質から2物質(群)、底質から3物質(群)、水生生物からは1物質(群)、大気から3物質(群)が検出されました。

暴露量調査では7物質(群)のべ10物質(群)・媒体を対象とし、オクタブロモジフェニルエーテルが水生生物、2,4 - ジニトロフェノールが水質、フェノールが水質、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFO S)が底質と水生生物、ペルフルオロオクタン酸(PFOA)が底質と水生生物から検出されました。

またモニタリング調査では、POPsとヘキサクロロシクロヘキサン(HCH)、有機スズ化合物、テトラブロモビスフェノールA - - の計11物質(群)ののべ40物質・媒体(底質と生物は11物質(群)、水質と大気は9物質(群))を調査したところ、POPs物質(注1)については、アルドリンが鳥類で、トキサフェンが水質と底質で検出されませんでした。ほぼ全物質が水質、底質、生物(魚類、貝類)、大気から検出され、有機スズ化合物も底質、生物(魚類、貝類)いずれからも検出されるという結果が得られました。

(注1) POPs物質はPCB類、ヘキサクロロベンゼン(HCB)、ドリソ類、DDT類、クロルデン類、ヘプタクロル類、トキサフェン、マイレックス。

資料:2005年3月31日付 EIC ネット

2005年3月31日付 環境省 HP (報道発表資料)

総務箇所 横山美代子

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキソソ類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

